

《アンケート調査》

シニア男性、料理を習ってどう変わった？

■調査対象：ベターホームの料理教室を1年以上受講した55歳以上の男性

■調査方法：無作為に抽出した400人にアンケートを郵送し、返送してもらいました。

■回収数：230人(回収率57.5%)

■調査地域：首都圏、京阪神、名古屋、札幌、福岡、仙台

■年代構成：

年代	50代	60代	70代	80代	計
人数	20人	175人	33人	2人	230人
%	8.7%	76.1%	14.3%	0.9%	

■職業構成：

職業	有職	無職	無回答
人数	57人	170人	3人
%	24.8%	73.9%	1.3%

■調査時期：2005年7月

(財)ベターホーム協会

2005年9月

住所 150-8363 東京都渋谷区渋谷 1-15-12

電話 03-3407-0471

■調査目的

- * ベターホーム協会では生活技術の普及活動の一環として、男性に料理を教えることに力を入れていきます。91年には350人だった受講生が年々増え、05年では全国で5530人の男性が受講しています。特に、定年後の人生に前向きに取り組もうとする男性たちを支援するために、05年春より「60歳以上の男性」に絞ったクラスを開講しています。
- * この教室を始めた背景は高齢化社会です。健康の基本は食生活。食事を人まかせにせず、自分でちゃんと管理できることは、この高齢化社会を生き抜く基本的な能力といえるでしょう。また、60歳で定年を迎えたとしても、80歳、90歳の親が生きているのが高齢化社会。自分のことは自分でできる能力はもとより、親や連れ合いの介護をする能力も必要です。さらにこの世代の妻はまだ現役で働いていたり、なんらかの活動をしていることが多く、留守がちです。そんな家庭にあって、リタイア後の男性は家事や介護をになう自立した一員として戦力になる必要があります。男性が料理ができるようになることは社会的な要請でもあるのです。
- * この調査は、中高年の男性が料理教室に通ったことで、生活や意識がどのように変化したかを把握して今後の活動の参考にするために行ったものです。

■調査のまとめ

①ほとんど料理をしない人が減り、月に2~3回程度する人が増加。

しかし料理をするのは「教室の復習をするとき」が主で、日常的にはまだまだ。

- * 調査対象は、「男子厨房に入らず」の世代。料理教室に通う前は「ほとんど料理をしなかった」人が78.4%でしたが、通った後は15.7%と激減しました。月に2、3回程度するという人が多く、頻度はそれほど高くありませんが、習慣的に料理をするようになったといえます。
- * 「どんなときに料理をしますか」という設問では、「料理教室の復習をするとき」が67.0%で最多。料理の勉強に取り組むまじめな姿勢がうかがえますが、日常的に料理をしているとはまだいえません。しかし料理教室がきっかけとなり、料理をするようになったのはよいことなので、もっと日常的に料理をするよう今後期待したいと思います。

②「いざという時に料理ができる」という自信がついた。

- * 料理教室に入った理由を「ひとりになっても困らないように」と答えた人が45.7%と約半数いました。「料理教室に通ってよかったと思うこと」という設問では、「いざというときに料理ができるという自信がついた」というのが、59.6%で最も多い回答でした。
- * 将来に不安を持っていた人が、料理を習ったことで「自分ひとりでもどうにかやっていけそうだ」という自信をつけたことは、大きな収穫でしょう。

③料理を習ったことで食分野全般に興味を持つようになり、生活の幅が広がった。

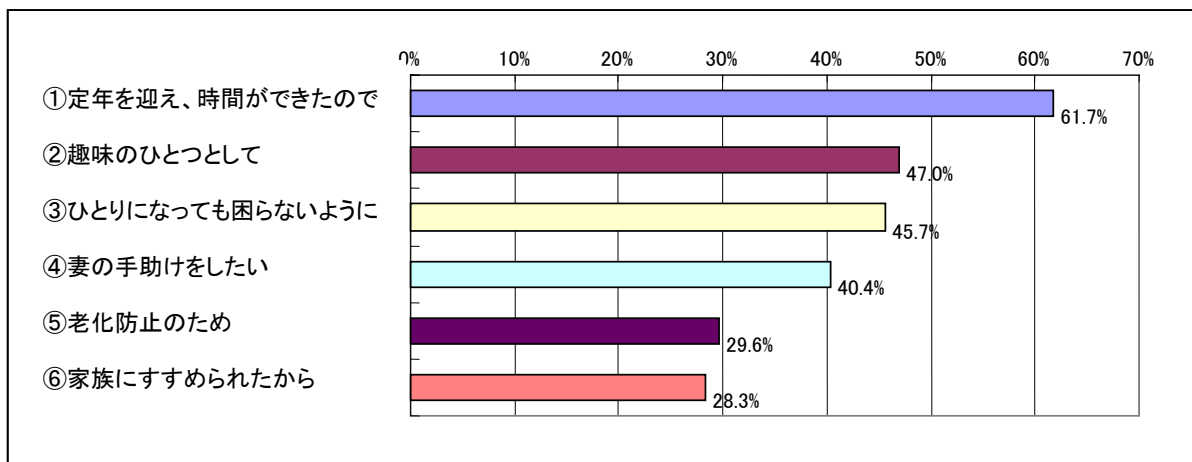
- * 料理教室に通った後は、食料品の買い物に行くようになった人や、テレビの料理番組や料理の本を見る人が大きく増えました。料理教室に通ったことで消費行動の幅が広がり、また生活の幅も広がっているようです。

④料理以外の家事もする人が増えた。

* 料理教室に通う前は、料理以外の家事をよくすると答えた人が 17.8%だったのが、通った後は 40.0%に増えています。料理をするようになったことで、家事全般に対しても関心と積極的な姿勢が出てきたと考えられます。家事は料理だけではありません。洗濯も掃除もできて一人前。料理教室に通った男性は、それをきっかけとして生活者として自立の道を着実に歩んでいるといえるでしょう。

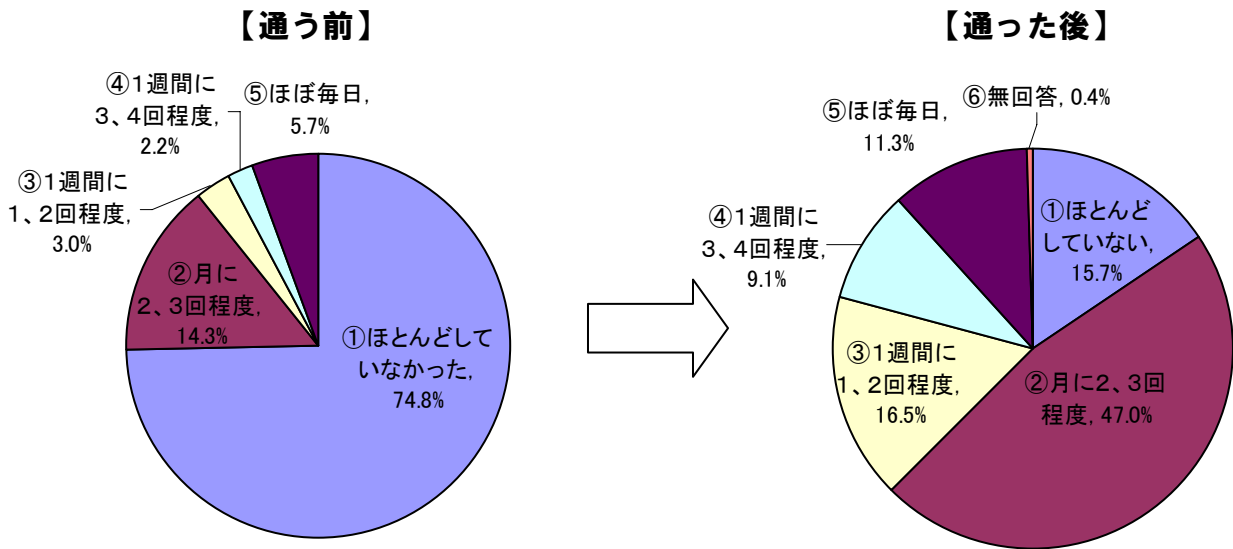
※回答比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入したため、個々の比率の合計が100%にならないことがあります。

1.料理教室に入ろうと思ったのはなぜですか？（複数回答）



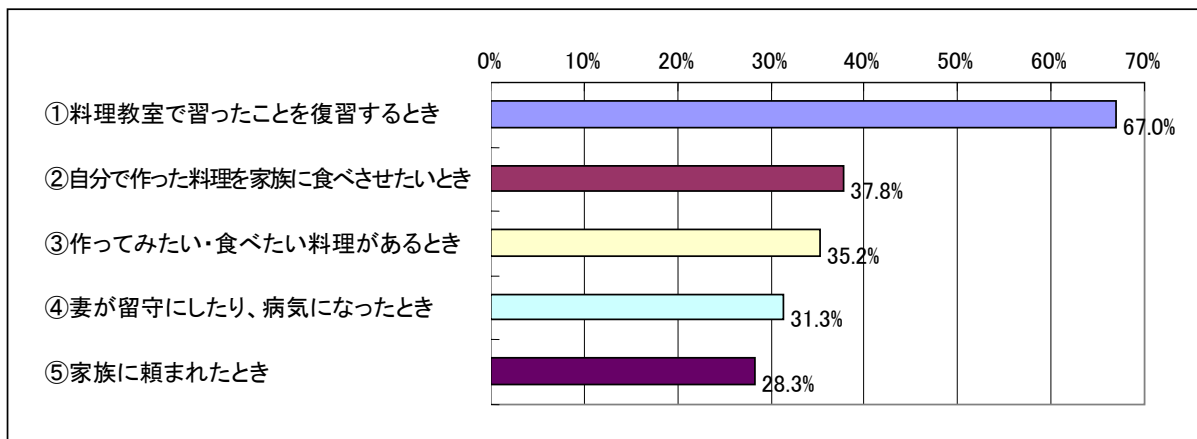
- * 1 位は「定年を迎え、時間ができたので」という理由。定年退職は男性にとって料理を始める大きなきっかけとなっている。
- * 「ひとりになっても困らないように」とは、妻が病気になったり亡くなったりして夫がひとりになる「まさかの場合」。もうひとつ、妻が仕事や外出で家にいない時という日常的な意味と両方ある。いずれにせよ、受身の理由で料理を覚えたいと思ったケースといえるだろう。
- * 「趣味として」「妻の手助け」など前向きで明るい考え方も、それぞれ同程度のポイントを獲得。
- * 現在、料理は脳を活性化するというさまざまな研究が行われている。今後は、料理の「老化防止」効果がより注目されるのではないだろうか。

2.料理教室に通う前、あなたはどの程度料理をしていましたか。また、現在（通った後）は家でどの程度料理をしていますか？



- * 料理教室に通う前は「ほとんど料理をしていなかった」という人が74.8%と圧倒的に多かった。
- * 料理教室に通った後は、家でほとんど料理をしない人はわずか15.7%と激減。多くの方が料理教室がきっかけで、家でも料理をするようになった。
- * 月に2、3回程度するという人がいちばん多く、頻度それほど高くないが、ほとんど料理をしなかった人が習慣的に料理をするようになったのは、大きな成長といえるだろう。

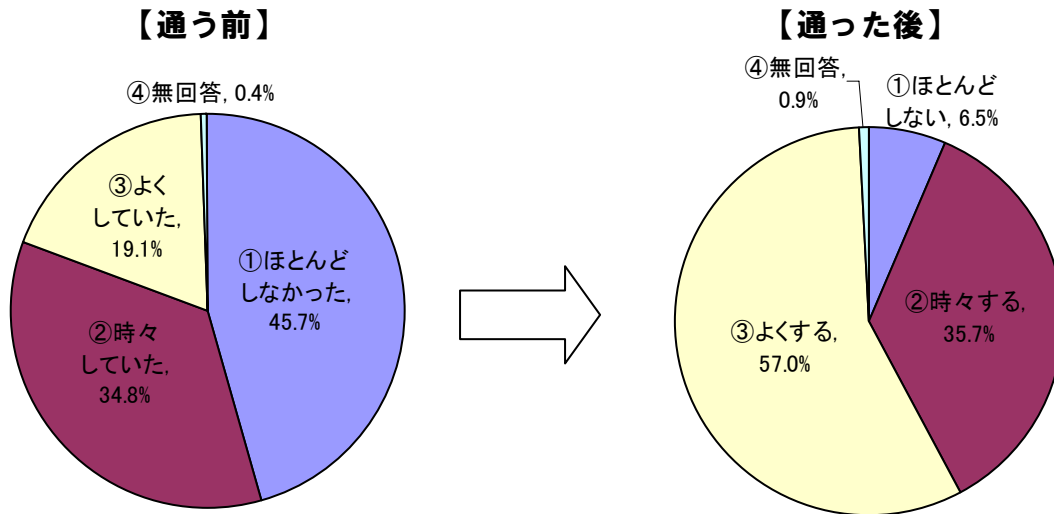
3.どんなときに料理をしていますか。（複数回答）



- * 「料理教室で習ったことを復習するとき」と答えた人が1位。習ったものを家でも復習して身につけようという、まじめな姿勢がうかがえる。真剣に料理に取り組んでいるのがわかる。しかし、まだ復習に留まっているのが現状。きっかけとしてはよいが、まだまだ日常的に作っているには及んでいない。
- * 「料理教室で習ったことを復習するとき」「自分で作った料理を家族に食べさせたいとき」「自分で作ってみたい・食べたい料理があるとき」というのは、自発的に料理をしている状況。一方、「妻が留守にしたり、病気になったとき」や「家族に頼まれたとき」というのは受身の状況である。自発的な状況が受身の状況を上回っている。いやいややるのではなく、積極的に料理をしている人が多いことがわかる。

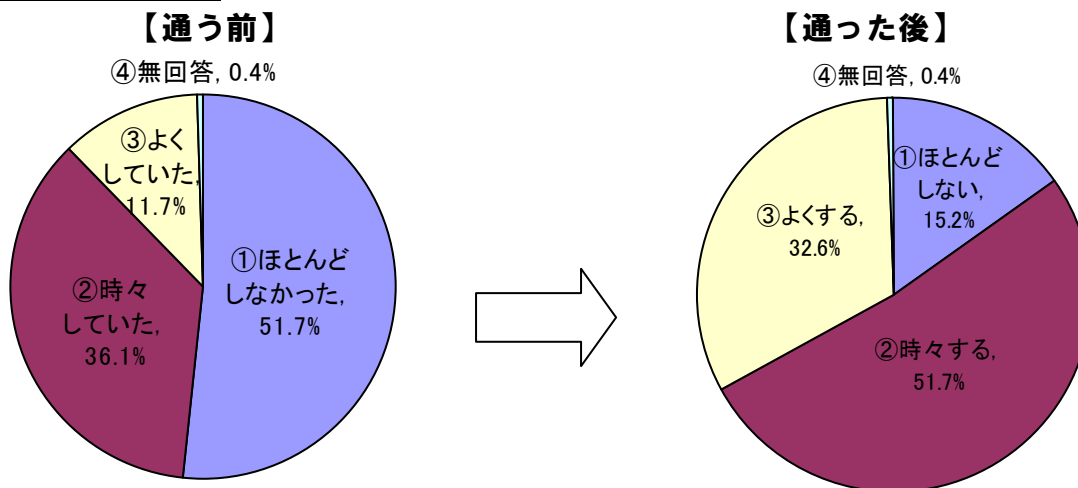
4.料理教室に通う前と通った後のあなたの状況に、それぞれひとつずつ○をつけてください。

食事の準備や後片付けの手伝い



- * 料理教室に通う前は、ほぼ半数の人が食事の準備や後片付けの手伝いをほとんどしていなかった。していた人も、「時々していた」と答えた人が多く、頻度は高いとはいえない。
- * 通った後は「よくする」と答えた人が57.0%で、通う前の約3倍に増えている。料理教室に通ったことがきっかけで、食事の準備や後片付けが習慣づいた人が多いと思われる。

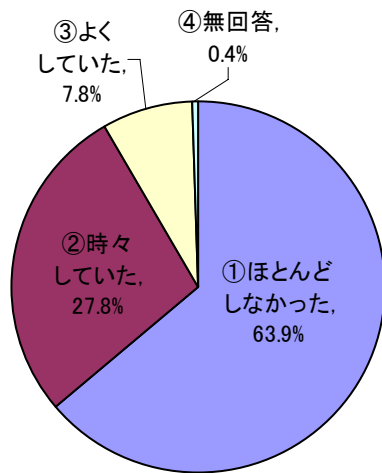
食料品の買いもの



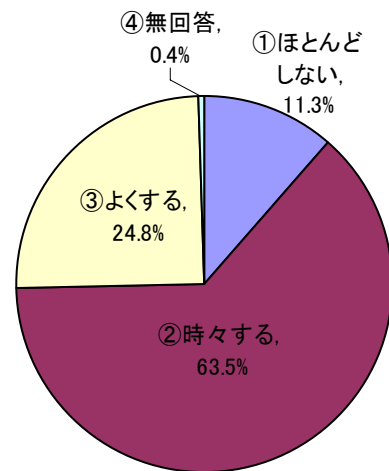
- * 料理教室に通った後は、食料品の買いものをするという人が大きく増えている。「時々する」と答えた人がいちばん多いが、「よくする」と答えた人も、通う前の約3倍に増えている。自分で料理をするときは自分で買いものに行くという人が多いようだ。
- * 定年後の生活では、行動範囲が限られてしまうという人が多いが、スーパーなどに買い物に行くことで行動範囲が広がり、生活が充実するのはよいことだ。
- * 料理や食全般に興味を持つ男性が増えれば、今後、料理や食に関する商品の男性の消費が拡大することが予想される。

テレビの料理番組や料理の本を見る

【通う前】



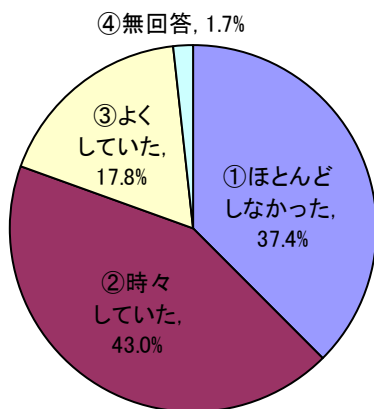
【通った後】



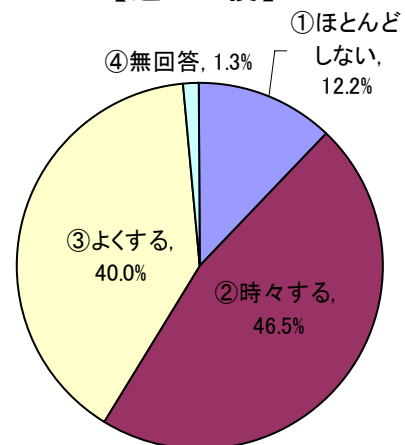
* 料理番組や料理の本は、料理に関心がない人はほとんど見ないもの。料理教室に通う前は「ほとんどしなかった」という人がと断トツで多かったが、通った後は「時々する」と答えた人が 63.5%で 35.7 ポイント増え、よくすると答えた人も 24.8%で 17.0 ポイント増えた。料理教室で習ったことだけではなく、料理全般に興味を持つようになったといえるだろう。

料理以外の家事

【通う前】

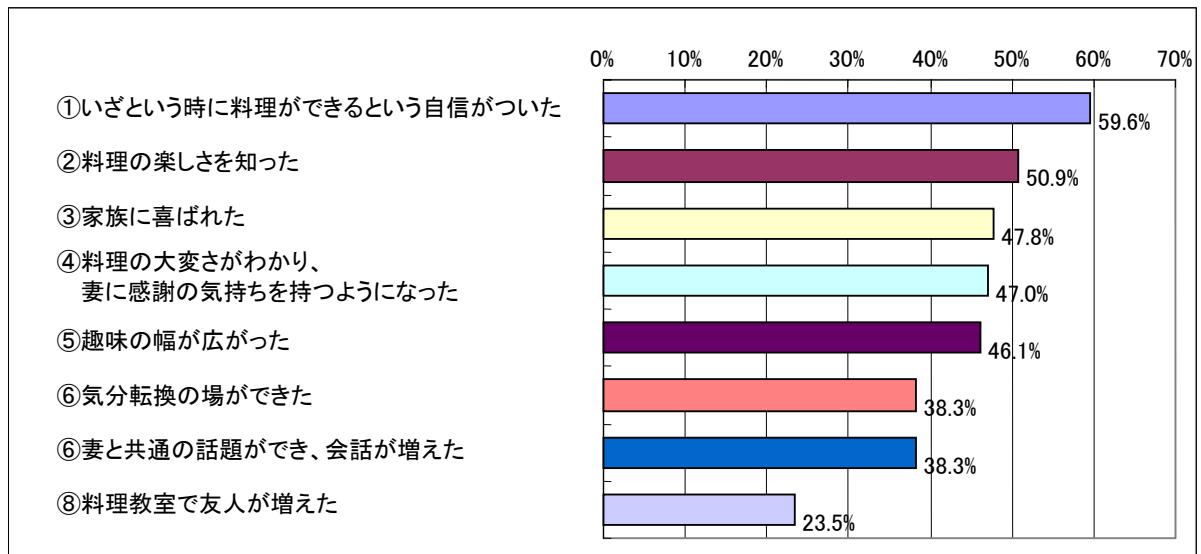


【通った後】



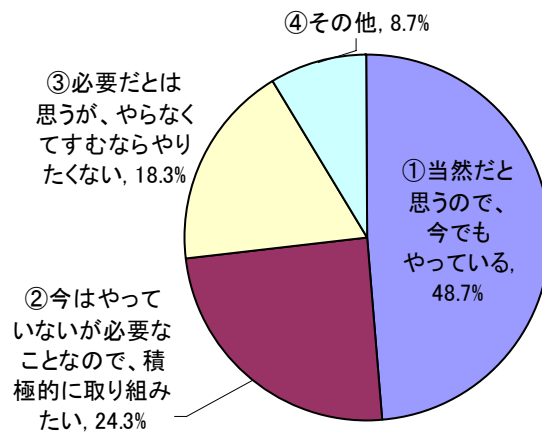
* 料理教室に通うと、料理以外の家事もする人が大幅に増えている。
* 特に、「よくする」と答えた人は 2 倍以上に。「食事の準備や後片付けの手伝い」と同じく、食事以外の家事をすることも習慣になっていることがわかる。これは、定年を機に料理教室に通い始めた人が多いため、以前よりも時間ができたからという理由もあるだろう。しかし、料理をするようになったことで、家事全般に対しても関心と積極的な姿勢が出てきたということが考えられる。

5. 料理教室に通ってよかったと思うことは何ですか。(複数回答)

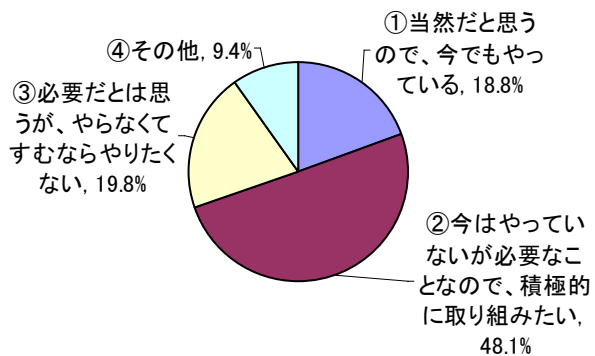


*「いざという時に料理ができるという自信がついた」が1位。設問1で、料理教室に入った理由を45.7%の人が「ひとりになっても困らないように」と答えているように、今現在不便がある訳ではないが、将来に不安を持っている人は多い。そんな人たちが「いざとなればできる」という自信をつけたのは、大きな収穫だろう。

6.自分が家事をすることについてどう思いますか？



<参考> 95年にも同様の調査を行ったところ、以下のような結果だった。



[95年の調査対象]

■ベターホームの料理教室を受講した男性 106人

■年代構成：

50代	60代	70代	80代	計
0人	88人	17人	1人	106人
0%	83.0%	16.0%	0.9%	

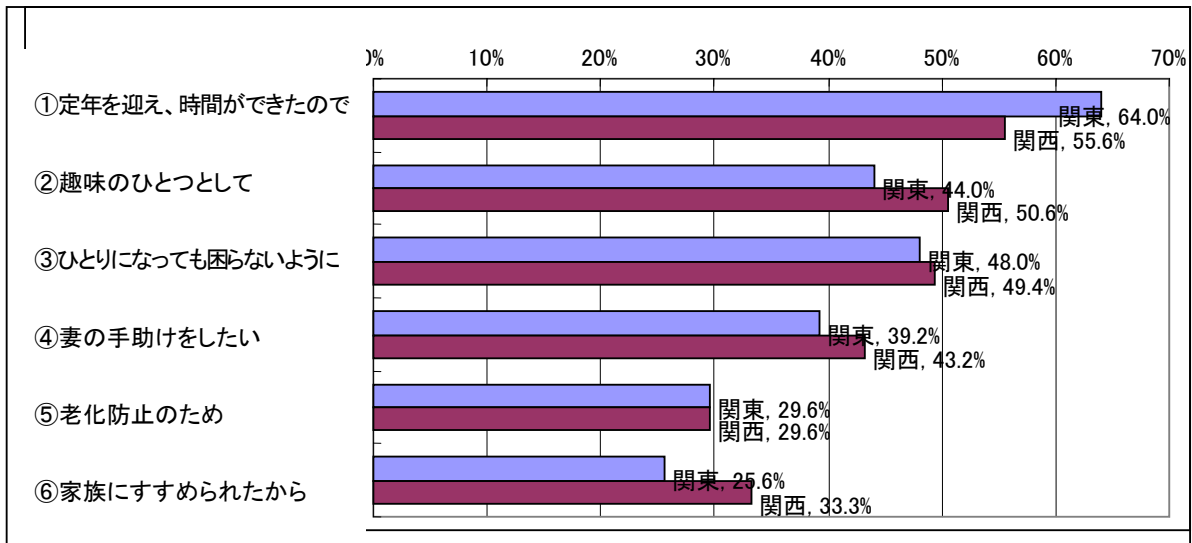
* 48.7%と、約半数の人が家事をしていると答えた。

* なお、95年の調査に比べ、家事をしている人は、約2.5倍に増えている。

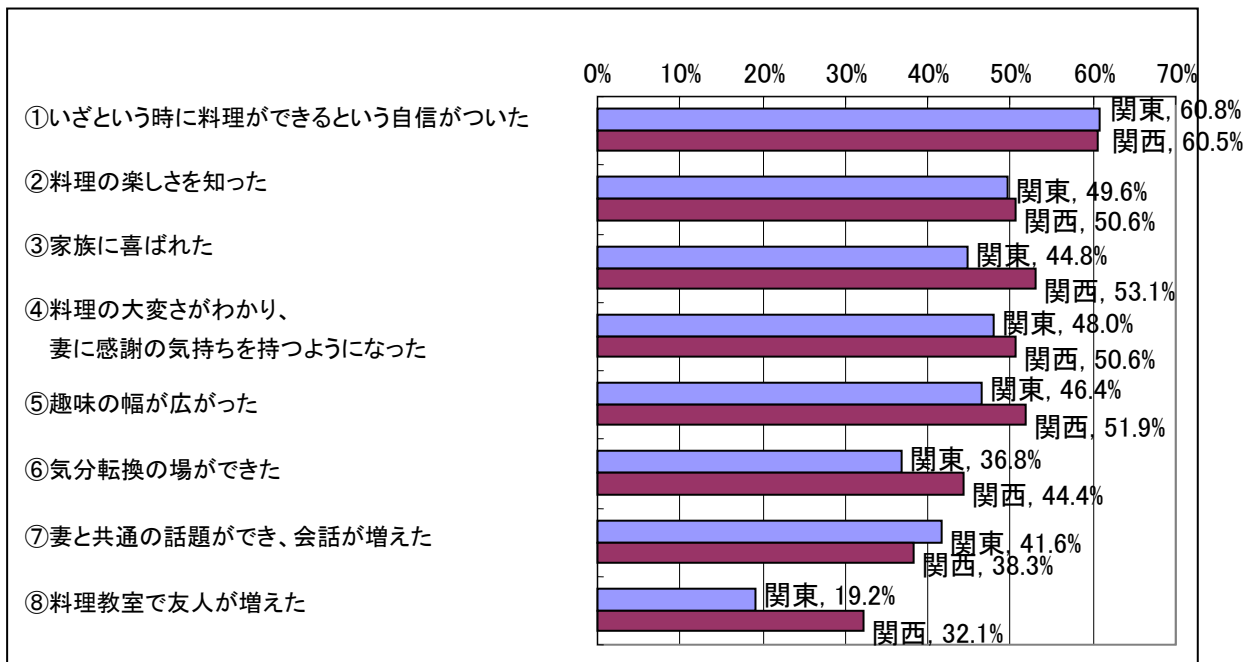
* 95年には「今はやっていないが積極的に取り組みたい」と、家事に対して前向きな人が多かったが、実践している人は少なかった。この10年で、家事に対する男性の意識と行動は大きく変化し、考えに行動が伴ってくる男性が増えたといえる。

付録<<関東と関西のデータの比較>>

1.料理教室に入ろうと思ったのはなぜですか？（複数回答）



5. 料理教室に通ってよかったと思うことは何ですか。（複数回答）



- * 関東と関西で傾向に差があるか比較してみた。
- * 問1の「料理教室に入った理由」を「趣味のひとつとして」、問2の「料理教室に通ってよかったこと」で、「料理の楽しさを知った」「趣味の幅が広がった」「気分転換の場ができた」と答えた人の割合が、いずれも関西が高い。関西の方が、料理を楽しんでいるように思われる。
- * また、問1では「妻の手助け」「妻にすすめられた」が、問2では「家族に喜ばれた」「妻に感謝」と答えた人の割合が、やはり関西が高い。関西の方が、家族を重視する傾向があるようだ。
- * また、関西は、問2で「友人ができた」と答えた人の割合が関東の約1.7倍と、高い。
- * 全体に関西の方が料理をすることを明るくとらえ、また家族や友人とのつながりを大切にしているようだ。

《料理教室の感想》※自由記入欄に書き込んでもらったもの。妻にも感想を記入してもらった。

● 本人（夫）の感想

定年になり時間ができました。何をやるか考えていましたが、毎日の食事を自分で作れないか、酒の肴を自分で作れないかと思って、教室に申し込みました。最初は何もできなかったけれど、最近は少し自信がついてきました。家族も喜んで、多少不出来でもおいしいと言っています。	千葉市	60代
家族にすすめられ、友人にも誘われて、一緒に参加しました。自分の作ったものを家族がおいしいと言ってくれたのは驚きでした。	世田谷区	70代
毎日3食(または2食)妻が作るのは大変だと思いました。また、食事を作るのはまだしも後片付けが大変だと認識しました。今では、皿を洗ったり、後片付けを手伝うこともあります。また、朝のゴミ捨ては私が日課としてやるようになりました。料理教室に通ってよかったと思います。	横浜市	60代
料理に気軽に取り組みめるようになりました。今までは野菜ひとつ切ること大層に考えていました。また、習ったレシピ以外に応用も考える幅が出てきました。退職後は家にいることが多く、3度の食事への対応が課題であったが、料理教室を受講したことで前向きに考えられ、毎日の料理を手伝うことで実践を積み重ねている日々であります。	川崎市	60代
家内が仕事を持っており、今まで世帯をもってから45年間すべて家内におまかせで苦勞をかけてきたので、退職を機にその一部をお返ししたい気持ちで教室に参加しました。教室では、魚のおろし方から、調味料の計り方、食材の下ごしらえ、だしのとり方などなど、大変役に立ちました。家内がいちばん喜んでくれていると思います。	世田谷区	60代
定年退職に伴い、前々から挑戦しようと思っていたので参加しました。料理も然る事ながら、同じテーブルになった方々と仲良くなり、今では4人グループを作り、教室終了後のお茶会、博物館などの見学、月1回の“夜のミーティング”など、お互いの情報交換の場が持てるようになりました。今後は益々楽しみです。	大田区	60代
娘が申し込みをしてくれたため、当初はいいやや参加したというのが正直なところです。ただし、男性だけのクラスだったため、気楽に参加できたというのが幸いです。そこで同じ年の仲間ができたこともあり、その後2人で女性と一緒にクラスに進級(?)。現在も月1回、楽しく参加しています。	稲城市	50代
家内が里帰り中、同居の90歳の母が食事を作ってくれていましたが、突然料理ができなくなって代わりに私が作るようになりました。母が食欲をなくしたときでも、私の料理をおいしいと食べてくれました。ベターホームで習ったことがこんなに役立つようになるとは思っていませんでした。喜んで食べてくれた母も逝ってしまい、今習っている「おもてなし料理」を初盆の折や仲間との会食などで披露しているこの頃であります。	横浜市	60代
濡れ落葉にならないために、「女もすなる料理といふものを男もしてみむとてするなり」と始めたのがきっかけです。あなた作る人、私食べる人から多少なりともアンバランスを縮小したい、作ることに負担を感じる妻の手助けになればなお幸い、家事の理解にもつながると信じています。	世田谷区	70代
趣味が広がり、料理をしているとストレスが和らぎます。孫に時々料理を作ったり、喜ばれています。習った料理を復習のつもりで作ったり、批評してもらったり、自信と今後の改善につながります。	調布市	60代
定年になって特に趣味もなく、のんびりしている時に友人にすすめられて参加しました。前から料理が好きで時々作ってはいたが、きちんと習うとおいしいものが作れて、家族にも喜ばれています。	横浜市	60代
食べたことのない料理を習うと、家で作り妻に食べさせます。料理の大変なことと、奥の深いことがわかりました。	厚木市	60代

料理は、同じ材料を使ってもその都度印象が違うので、その違いを見分けて同じように仕上げることは難しいと感じますし、それがまたおもしろく、腕の見せどころだと思います。失敗しても次はうまくやってやろうと、意欲がわいてきます。	所沢市	60代
作ることの大変さを知りました。後片付けまでが料理だと感じ、実践中。(家族の)反応は上々、頑張ろう!!	狭山市	60代
だしのとり方などオーソドックスなことを習って、家で時々することが妻の刺激になったと思います。妻の味付けが丁寧になり、おいしい料理を食べさせてもらうようになりました。	横浜市	60代
参加の動機は、3年前に妻を亡くし、自分のことは自分でせざるを得なくなったため。思い切って参加して大変よかったです。格別上手にできるようになったということはないですが、料理に対して親しみと興味を覚えました。	多摩市	60代
毎日妻は大変だと思いました。男は職場で大変だが、料理、洗濯、育児など全て妻まかせ。もっと早く協力してやれば…と思いました。	さいたま市	60代
料理に対し、抵抗なく取り組めるようになりました。ひとりのときも、自分で食事を作り、食べることができるようになったので、いつも妻をわずらわすことがなくなりました。	相模原市	60代
当初はレシピの食材を一から買い揃えてからでないとい取り組みなかったが、今では冷蔵庫の中をあらかじめ確かめてから買いものに行くようになりました。レパートリーが増えてくると、食材を有効に活用できるようになりました。味付けの基本がある程度分かったので自分なりにアレンジした料理にもチャレンジしています。家族の評判もかなりのもの!	西東京市	60代
数年前から自己流でやっていましたが、基本を覚えたくて参加しました。料理の準備、盛り付け、後片付けと段取りが非常によく勉強になりました。仕事を終えて帰宅してからのわずかな時間でいろいろできるようになりました。	江戸川区	50代
会社員時代は、“男子厨房に入らず”でした。それが一転、家族のすすめで料理教室に参加して、料理に興味を持ち、家族のみならず友人を招待してふるまえるまでになりました。周辺の男性にも料理をすすめています。	奈良市	60代
買いものからはじめて、完成したときは非常にうれしい。料理教室に通いだして、料理は愛情、努力、感謝の気持ちが第一と考えるようになりました。	京都市	60代
この頃は私が毎日の料理を仕切っています。	神戸市	70代
男性が料理教室で学ぶことは、最初はかなり勇気のいることである。しかし、その楽しさは、実践してはじめて気づく。今後、高齢化社会を迎え、家庭環境の変化、自分自身の健康、ボケ防止など、男性が取り組むべき課題の極めて大切なものが料理であることを、ひとりでも多くの男性に知って欲しいです。	神戸市	60代
最初は正直はずかしさもありおっかなびっくりだったが、徐々に慣れてきた感じです。今はレシピが頼りの段階ですが、目標は、ある材料で料理を考えられるようになることです。	札幌市	70代
同じような意識を持った男性が多くいたので、意を強くしました。もう少し続けようかと思っています。	札幌市	60代
娘がインターネットで見つけて、申し込んだことが始まりで、参加する前はあまり乗り気がしなかった。定年になった直後で時間はあったので、強くすすめる娘や妻の顔を立てて参加したものである。月1回であればあまり負担にならないので、これからも続けようと思っています。	札幌市	60代
教室で学んだとおりに、またレシピどおりにやれば、今まで家で食べていた料理とは違うランクアップした味になることがうれしいです。	仙台市	60代
定年後に向けて、少しでも妻の手助けをしたいと思います。教室に参加して、男性が多く受講しているので驚きました。同時に、自分も頑張ろうと思いました。	名古屋市	60代
リタイヤ後、妻との家事分担を対等にすることを胸に秘めて準備しています。今は勤めに出ているとの大義名分で家事はいつさいしていません。	名古屋市	60代

料理の楽しさや、料理への興味、さらには上手に料理できたときの喜びなどを知ることができました。これまで料理についての知識がほとんどなかったのに、教室での先生の説明に、なるほど、なるほどの連続です。	唐津市	60代
年金暮らしになり、妻と二人でいる時間が多くなったので、料理を妻ひとりでやらせるのは負担になると思って料理教室に参加しました。今は、妻と二人で料理を作り、二人で楽しく食事ができるようになり、幸せな気持ちで過ごしています。	久留米市	60代

● 妻の感想

		夫の年代
料理教室に通ってから、食材や台所の器具、調味料の使い方に興味が出てきたように思います。夫婦の会話も、食について話すことが多くなり、後片付けをよくしてくれるようになりました。	西東京市	60代
最初は習ったものを作るのにあまりに時間がかかるのでどうなることかと思っていましたが、だんだんに慣れてきたようです。私が帰宅した時に食事ができているのはとてもうれしいです。	さいたま市	70代
講習から帰ってまいりますと、「こんなおいしいものは初めて食べた」と毎回感激しております。今までの私の手料理は何だったんでしょうと思うこともありますが…。食に対して無関心の主人だったのに、今では反対にすっかり食通になり、テレビの料理番組にもしがみついております。	仙台市	60代
料理をしたことのない主人でしたが、習った料理は必ず作ります。健康によい食品、器にも興味を持ってきました。食品の買いものもすすんでします。主人の料理がまわりの人を喜ばせているのが何よりです。	葛飾区	60代
この頃は進んで料理をしてくれることが多くなり、うれしく思っています。いちばんうれしかったのは、私がちらし寿司を作ったとき、「これはすごく大変なんだよネ」と言ってくれたことでした。料理を通して、お互いに相手を思いやる気持ちが増したような気がします。	座間市	60代
“男子厨房に入らず”と、家事など何もしなかった夫。今では台所に立つことも、皿洗いも平気でやってくれます。私が不在の時に餓死することもなく、自炊できています。	横浜市	60代
私も料理を覚え始めた頃はレシピ片手にきちんと作っていたのに、今では手抜き料理になった自分を、夫の姿を見て思い知らされている今日この頃。人に作ってもらって家で食べられるという、思いもよらなかった幸せを感じています。私の料理に口うるさくなったのも事実ですが…。	松戸市	60代
自発的に教室に通い、結果的に私が帰省やその他で外出するときに自分で食事を作るので、大いに助かっています。食材についても、会話がすすむようになりました。	横浜市	60代
家事全般に目が向くようになりました。もう少し続けてもらいたいと思っています。	世田谷区	70代
会社人間から引退した主人。料理でも習おうかな？との言葉を聞き逃さずベターホームを勧めたら、楽しそうに通いはじめ、早2年目。今年のお正月は煮しめが息子一家・娘一家にも大好評。台所の片付けも手早く、皆にうらやましがられています。3年目、4年目と続けてね！！という感じです。	横浜市	60代
お料理の勉強をするなんて、主人はえらいと思いました。習ったことを家で実践してくれて、家庭が明るく和やかになりました。	千葉市	60代

日頃より料理に興味を持っておりました主人ですが、教室に通い自信がついたようです。家で復習する料理も、大変丁寧でお味がよく、家族の評判は上々です。何よりも料理を楽しんでいることがうれしく、私も大助かりしております。	杉並区	60代
はじめは私のすすめで通いはじめたのが、今では楽しんで行くようになりました。家でも料理に対して前向きで、自分から進んで取り組み、1年でびっくりするほど上達しました。私としても、食事の支度の負担が少なくなり喜んでます。男の人もやる気ときっかけで何事もできるのだと思いました。	川崎市	60代
自分からは積極的には行わないのですが、手伝って欲しいと言えば手伝ってくれるようになりました。	綾瀬市	60代
食に対して共通の話題を持てるようになりました。(ちょっとうるさくなった)	伊勢原市	70代
習った料理を率先して作って、最初はレシピ通りにするが、少しずつ自分でアレンジしたり、家族の味にしてくれて、いつもおいしくいただいています。私が留守をしても困ることなくとも助かっています。	調布市	60代
習ってきた料理を必ず1回は作ってくれるので、私も楽しみにしています。料理の大変さもわかってくれるようになり、後片付けもしてくれるようになりました。(ただし、朝食のみですが)	横浜市	60代
レポートリーがどんどん増えて楽しそう!!今はまだリクエストをしないと自らは実行しないので、リクエストなしでも包丁を持つようになったら最高!!	狭山市	60代
毎日食べる食事、ただ食べるだけでなくいろんな関心を持つようになり、作る側も張り合いが出てきます。時々作ってくれる料理。とてもうれしく、疲れが癒されるように感じ、よい教室に通ってくれたと思っております。毎月、母の介護のために夫婦で田舎に帰るのですが、その折、習った料理を母に作ってあげています。“男子厨房に入らず”に近い生活をしてきた人がここまで変わったかと思うと、これから先、少し安心です。	東久留米市	60代
時々料理をしてくれること、台所の改善・調理器具の整備などをしてくれるようになり、大変喜んでます。	八王子市	60代
以前は食事の好き嫌いが大変多かったが、料理を習うようになったら、だいぶ少なくなってきました。料理を作ってくれるときは、家族も大喜びし、孫たちも尊敬しております。	川崎市	60代
趣味のない人だったので、趣味ができたのと、家で作って食べさせてもらえるという実益の一挙両得を喜んでます。	船橋市	60代
主人が料理教室に通うようになり、料理を作ることの喜びを感じたのでしょうか、顔が生き生きしてきました。料理の味の方もずいぶん上達して、私をすっかり超えてしまいました。私もこれで安心して仕事ができるようになりました。家庭円満はまず食生活から?とつくづく思います。	西東京市	60代
あの不精で何もしなかった夫が、最近では自主的に家事をやるようになり、驚くやうらしいやらです。料理の腕はまだまだという感じがありますが、更に積極的にしてくれることを期待しています。	横浜市	60代
マンネリ化していた食生活が、夫が料理教室で習得してきた料理により解消されました。感謝しています。	相模原市	60代
教室のある日は自分で身支度して行きますが、家で料理をしたのは15ヵ月中2回だけ。もう少し関わって欲しいと思っています。それでも、食事のときの話題が増えてきました。	蓮田市	60代
主人が料理教室に通う前は私の代わりに食事を作ってくれる人がいなかったもので、風邪をひいても起きて食事を作らなければならなかったので大変でした。今では週に1~2度習った料理を作ってくれるので、私自身の時間が持てるようになりました。	世田谷区	50代
料理教室で友だちもでき、とても楽しそうです。ただし、1回も作って食べさせてもらっておりません。	大田区	60代

技術面だけでなく料理の由来などいろいろ教えていただき、こういうことを習ったと話してくれまして、私もいろいろと参考になりました。近くに住む私の両親に作った料理を届け、「おいしかった！」という電話が入るのが何よりの励みのようです。	神戸市	60代
ギブアップを覚悟しておりましたが、興味を持ってくれて喜んでおります。私の忙しいときは手伝ってくれるので助かります。今は、主人が習ってきたのを教えてもらっています。	高槻市	60代
大喜びしています。家族が集まったときに手料理をふるまってもらい、子供たちも大満足しています。	札幌市	60代
料理などまったくする気がなかった夫が、よくぞ2年目を受講する気になったと感心しました。今では時々作ってくれるので、おいしくいただいています。	札幌市	60代
私はパートで働いています。帰って来ると、毎日のように習ってきた料理を2点3点と作ってしてくれます。時間をかけて、丁寧に習ったとおりに作るので感心します。買いものも、冷蔵庫の中を見て、メモをして、店を選び、品物もよく吟味して買ってきます。料理の本やテレビの料理番組にも関心をもっているようです。子供もとても喜んでいて、お父さんの株が上がりました。料理教室に通うようになってから、いいことばかりで、お蔭様です。	仙台市	60代
今まで全くと言っていいほど台所仕事はしておりませんでした。定年を迎えてから料理教室に行き出し、私としてはびっくりした出来事でした。本人もワクワクした気分で通っているのがわかります。作業が丁寧で、時間はかかりますがきちんとしています。私の「早いが大雑把」とは違い、主人の几帳面さを再認識しました。子供の家族が帰省する折に、私も手伝いつつ、習った料理を作りたべさせています。もちろん、子供たちもびっくりです！！私も仕事をやめたら料理教室に通おうかなと思っています。	唐津市	60代

以上